

# ふらっと.come!

平成21年 9月 1日 第10号

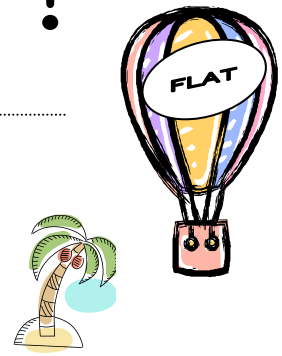
発行者 船橋福祉相談協議会 「ふらっと船橋」

〒273-0011 船橋市湊町2-1-5 MIIビル101R

TEL 047-495-6777 FAX 047-495-6776

HP <http://www1.ocn.ne.jp/~flatcome/>

Email flat-funabashi@key.ocn.ne.jp



## 「特別支援教育と関係機関との連携」

船橋市総合教育センター教育支援室  
主幹 渡辺 正夫

特別支援教育が本格的に開始されたのは、平成19年4月からである。これに先駆け船橋市では、平成15年度から県の指定を受けて特別支援教育について取り組み始めた。特別支援連携協議会の設置、特別支援教育コーディネーターの指名、専門家チーム会議や巡回相談の開始などに取り組み、本市の特別支援教育の充実を図って参りました。

この特別支援連携協議会に、就学前から学校卒業後3年間を見通した作業部会を立ち上げました。就学前から小学校へ、義務教育段階、学校卒業後の3つの作業部会に分けて議論を積み重ねてきました。

これまでの議論の結果として、障害のある子どもたちの情報が、就学前に所属していた施設や相談所から小学校に上がる時に「引継書」という形で情報交換がなされるようになってきました。就学前にどのような指導がなされてきたのかを踏まえることができるようになりました。

また、学校卒業後においては、企業や福祉作業所、職業安定所、障害福祉課、各相談所などとの関わりが持てるようにするため、「個別移行支援計画」を作成して、各機関に情報を提供していこうとするシステムも出来上がりつつあります。

これまでは、教育は教育の範囲でしか議論してこなかった傾向がありましたが、この特別支援連携協議会を通して、縦のつながりができてきました。このことによって、これまではなかなか情報が入ってこなかった機関からたくさんの情報を頂くことができ、小学校入学後の指導に役立てることができ、スムーズに学校生活が送れるように工夫できるようになってきました。

また、学校卒業したあと、地域の中でどう暮らしていくかを考えることによって、様々な機関や団体と関わっていく必要性も認識させられたところです。特に親亡き後、障害のある人が地域で暮らしていくための方策を考えている団体から情報を得られたことにより気づかされたことは大きな収穫でした。

今後は、障害のある人が社会へ自立するための教育を受け、社会の一員として生活していくためには、様々な機関や団体と情報を共有していかなければならないことを痛感している今日この頃です。

今回は、特別支援教育に関しまして平素よりご指示・ご助言を頂いております渡辺先生にご投稿をお願いし、今後とも併せてふらっと船橋との連携をお願いしております。

## 【4月から勤めはじめて…】

今年4月に採用され、はや5ヶ月が過ぎました。当初は先輩の相談員の訪問に同行させていただいたり、来所された方のご相談を一緒にお伺いしていましたが、現在は、数件のケースを担当しております。精神障害や知的障害をお持ちの方のご相談は未経験でしたので、対応に苦慮することも多いのですが、毎週のケース会議で、指導や助言をいただき助けられています。相談業務については、皆さん忙しくややもすると担当以外のケースは、把握できない検討できないというような話も聞いたことがありますが、ここでは、非常勤の職員もいるので、毎週全員の出勤日を設けて、その日に現在ご相談を受けているケースについて2～3時間かけて報告や検討をしています。

ご相談は、当事者の問題にたどりつくまでに、家族の複雑な問題を紐解いていかねばならない場合が多々あります。新米としては、この機会が他の相談員のケースも共有でき多に勉強になります。また、パソコンで記録も共有していますので担当者不在時でもご相談を受けられる体制になっており、私が電話をお受けすることもあります。「ふらっと船橋」にご相談を寄せられた方で、この間、雇用情勢が厳しいなか就職につながった方、地域での独居生活が困難になりグループホームに入居し健康を取り戻し自立した生活を送っておられる方などもおられます。今は、「ふらっと船橋」の一員として充実した気持ちで働いています。（須崎）



### 講演会・シンポジウムのお知らせ！ テーマ 「地域の中に暮らしをつくる」

日時 11月 7日 (土)

開 場 12:30 開 会 13:00 ～16:30

場 所 船橋市 高根台公民館 講堂 (住所 千葉県船橋市高根台1-2-5)

※新京成線 高根公団駅下車2分程

参加費 資料代として500円 定員 100名 (先着順 申込不要)

・第1部 13:00 ～ 14:00

講 演 「シェア住宅を通しての暮らしづくり」

<講 師> 千葉大学大学院工学系研究科 助教 <sup>チョン</sup> <sup>シヨン</sup> 丁 志映 氏

・第2部 14:15 ～ 16:30

シンポジウム「地域の中に暮らしをつくる」

<シンポジスト> 講師含め3名を予定し、交渉中！ (手話通訳・要約筆記有り)

・主催：船橋福祉相談協議会・共催：船橋市障害福祉施設連絡協議会・後援：船橋市（予定）

※・講演会のチラシをお配りして頂ける団体等が御座いましたらふらっとまでご連絡ください！



先頃の衆議院選挙の結果にて政権が移りますが、マニフェストには様々な公約が掲げられており内容は賛否両論。果たして障害をもつ方々やご家族にとって「地域の中に暮らしをつくる」という選択肢がこれまでより広がる事を切に期待して今後の動向を見つめましょう！！

(清水)

ご報告として！

ふらっと船橋は「船橋市地域自立支援協議会及び専門部会」への参加をしております。

と

今号はここまで。